

医薬品情報セミナー

責任者・コーディネーター	情報薬科学分野 西谷 直之 教授		
担当講座・学科(分野)	情報薬科学分野、地域医療薬学分野		
対象学年	5	区分・時間数	講義 15 時間
期 間	後期		
単 位 数	1 単位		

・学習方針（講義概要等）

医薬品情報セミナーは、5 学年までに学習した薬物治療や医薬品情報の知識をより深く理解するとともに、医薬品情報取り扱いの実践的能力を形成する。また、科学的根拠に基づく医療を実践する医療従事者として、最新の情報を得る必要性について理解を深める。

・教育成果（アウトカム）

医薬品添付文書やインタビューフォームなどの医薬品情報を活用し、令和 2 年度に製造販売承認を取得した新薬を中心に創薬の傾向を理解することを通して、薬物治療の薬学的管理への基盤と生涯学習の意欲が形成される。（ディプロマ・ポリシー：2, 4, 9）

・到達目標（SBO）

1. 医薬品を使用したり取り扱う上で、必須の医薬品情報を列举できる。（758）
2. 医薬品（後発医薬品等を含む）の開発過程で行われる試験（非臨床試験、臨床試験、安定性試験等）と得られる医薬品情報について概説できる。（760）
3. 医薬品の市販後に行われる調査・試験と得られる医薬品情報について概説できる。（761）
4. 医薬品添付文書（医療用、一般用）の法的位置づけについて説明できる。（766）
5. 医薬品添付文書（医療用、一般用）の記載項目（警告、禁忌、効能・効果、用法・用量、使用上の注意など）を列举し、それらの意味や記載すべき内容について説明できる。（767）
6. 医薬品インタビューフォームの位置づけと医薬品添付文書との違いについて説明できる。（768）
7. MEDLINE などの医学・薬学文献データベース検索におけるキーワード、シソーラスの重要性を理解し、検索できる。（770）
8. 目的（効能効果、副作用、相互作用、薬剤鑑別、妊婦への投与、中毒など）に合った適切な情報源を選択し、必要な情報を検索、収集できる。（技能）（769）
9. 臨床試験などの原著論文および三次資料について医薬品情報の質を評価できる。（技能）（772）
10. 医薬品情報をニーズに合わせて加工・提供し管理する際の方法と注意点（知的所有権、守秘義務など）について説明できる。（773）
11. EBM の基本概念と実践のプロセスについて説明できる。（774）

月日	曜日	時限	講座・分野	担当教員	講義内容/到達目標
2/15	火	1	情報薬科学分野	西谷 直之 教授	<p>総論</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 医薬品を使用したり取り扱う上で、必須の医薬品情報を列挙できる。(758) 2. 医薬品（後発医薬品等を含む）の開発過程で行われる試験（非臨床試験、臨床試験、安定性試験等）と得られる医薬品情報について概説できる。(760) 3. 医薬品の市販後に行われる調査・試験と得られる医薬品情報について概説できる。(761) 4. 医薬品添付文書（医療用、一般用）の法的位置づけについて説明できる。(766) 5. 医薬品添付文書（医療用、一般用）の記載項目（警告、禁忌、効能・効果、用法・用量、使用上の注意など）を列挙し、それらの意味や記載すべき内容について説明できる。(767) 6. 医薬品インタビューフォームの位置づけと医薬品添付文書との違いについて説明できる。(768) 7. MEDLINE などの医学・薬学文献データベース検索におけるキーワード、シソーラスの重要性を理解し、検索できる。(770) 8. 目的（効能効果、副作用、相互作用、薬剤鑑別、妊婦への投与、中毒など）に合った適切な情報源を選択し、必要な情報を検索、収集できる。（技能）(769) 9. 臨床試験などの原著論文および三次資料について医薬品情報の質を評価できる。（技能）(772) 10. 医薬品情報をニーズに合わせて加工・提供し管理する際の方法と注意点（知的所有権、守秘義務など）について説明できる。(773) 11. EBM の基本概念と実践のプロセスについて説明できる。(774) <p>事前学習：医薬品情報の収集、加工、提供の方法を復習しておく。 事後学習：講義を振り返り、資料をまとめておく。</p>

2/15	火	2	情報薬科学分野 地域医療薬学分野	西谷 直之 教授 松浦 誠 特任教授	<p>指定疾患に関わる医薬品情報の収集・加工 1</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 医薬品添付文書（医療用、一般用）の記載項目（警告、禁忌、効能・効果、用法・用量、使用上の注意など）を列挙し、それらの意味や記載すべき内容について説明できる。 2. 医薬品インタビューフォームの位置づけと医薬品添付文書との違いについて説明できる。 3. 臨床試験などの原著論文および三次資料について医薬品情報の質を評価できる。（技能） 4. 医薬品情報をニーズに合わせて加工・提供し管理する際の方法と注意点（知的所有権、守秘義務など）について説明できる。 <p>【調査学習】</p> <p>事前学習：指定疾患の病態と薬物治療について予習しておく。</p> <p>事後学習：講義を振り返り、指定薬剤の三次資料を収集し、まとめる。</p>
2/17	木	1	情報薬科学分野 地域医療薬学分野	西谷 直之 教授 松浦 誠 特任教授	<p>指定疾患に関わる医薬品情報の収集・加工 2</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 医薬品添付文書（医療用、一般用）の記載項目（警告、禁忌、効能・効果、用法・用量、使用上の注意など）を列挙し、それらの意味や記載すべき内容について説明できる。 2. 医薬品インタビューフォームの位置づけと医薬品添付文書との違いについて説明できる。 3. 臨床試験などの原著論文および三次資料について医薬品情報の質を評価できる。（技能） 4. 医薬品情報をニーズに合わせて加工・提供し管理する際の方法と注意点（知的所有権、守秘義務など）について説明できる。 <p>【調査学習】</p> <p>事前学習：指定疾患の病態と薬物治療について予習しておく。</p> <p>事後学習：講義を振り返り、指定薬剤の三次資料を収集し、まとめる。</p>
2/17	木	2	情報薬科学分野 地域医療薬学分野	西谷 直之 教授 松浦 誠 特任教授	<p>指定疾患に関わる医薬品情報の収集・加工 3</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 医薬品添付文書（医療用、一般用）の記載項目（警告、禁忌、効能・効果、用法・用量、使用上の注意など）

					<p>を列挙し、それらの意味や記載すべき内容について説明できる。</p> <p>2. 医薬品インタビューフォームの位置づけと医薬品添付文書との違いについて説明できる。</p> <p>3. 臨床試験などの原著論文および三次資料について医薬品情報の質を評価できる。（技能）</p> <p>4. 医薬品情報をニーズに合わせて加工・提供し管理する方法と注意点（知的所有権、守秘義務など）について説明できる。</p> <p>【調査学習】</p> <p>事前学習：指定疾患の病態と薬物治療について予習しておく。</p> <p>事後学習：講義を振り返り、指定薬剤の三次資料を収集し、まとめる。</p>
2/21	月	1	情報薬科学分野 地域医療薬学分野	西谷 直之 教授 松浦 誠 特任教授	<p>指定疾患に関わる医薬品情報の収集・加工 4</p> <p>1. 医薬品添付文書（医療用、一般用）の記載項目（警告、禁忌、効能・効果、用法・用量、使用上の注意など）を列挙し、それらの意味や記載すべき内容について説明できる。</p> <p>2. 医薬品インタビューフォームの位置づけと医薬品添付文書との違いについて説明できる。</p> <p>3. 臨床試験などの原著論文および三次資料について医薬品情報の質を評価できる。（技能）</p> <p>4. 医薬品情報をニーズに合わせて加工・提供し管理する方法と注意点（知的所有権、守秘義務など）について説明できる。</p> <p>【調査学習】</p> <p>事前学習：指定疾患の病態と薬物治療について予習しておく。</p> <p>事後学習：講義を振り返り、指定薬剤の三次資料を収集し、まとめる。</p>
2/21	月	2	情報薬科学分野 地域医療薬学分野	西谷 直之 教授 松浦 誠 特任教授	<p>指定疾患に関わる医薬品情報の収集・加工 5</p> <p>1. 医薬品添付文書（医療用、一般用）の記載項目（警告、禁忌、効能・効果、用法・用量、使用上の注意など）を列挙し、それらの意味や記載すべき内容について説明できる。</p> <p>2. 医薬品インタビューフォームの位置づけと医薬品添付文書との違いについて説明できる。</p>

					<p>3. 臨床試験などの原著論文および三次資料について医薬品情報の質を評価できる。(技能)</p> <p>4. 医薬品情報をニーズに合わせて加工・提供し管理する方法と注意点(知的所有権、守秘義務など)について説明できる。</p> <p>【調査学習】</p> <p>事前学習：指定疾患の病態と薬物治療について予習しておく。</p> <p>事後学習：講義を振り返り、指定薬剤の三次資料を収集し、まとめる。</p>
2/22	火	1	情報薬科学分野 地域医療薬学分野	西谷 直之 教授 松浦 誠 特任教授	<p>指定疾患に関わる医薬品情報の収集・加工6</p> <p>1. 医薬品添付文書(医療用、一般用)の記載項目(警告、禁忌、効能・効果、用法・用量、使用上の注意など)を列挙し、それらの意味や記載すべき内容について説明できる。</p> <p>2. 医薬品インタビューフォームの位置づけと医薬品添付文書との違いについて説明できる。</p> <p>3. 臨床試験などの原著論文および三次資料について医薬品情報の質を評価できる。(技能)</p> <p>4. 医薬品情報をニーズに合わせて加工・提供し管理する方法と注意点(知的所有権、守秘義務など)について説明できる。</p> <p>【調査学習】</p> <p>事前学習：指定疾患の病態と薬物治療について予習しておく。</p> <p>事後学習：講義を振り返り、指定薬剤の三次資料を収集し、まとめる。</p>
2/22	火	2	情報薬科学分野 地域医療薬学分野	西谷 直之 教授 松浦 誠 特任教授	<p>指定疾患に関わる医薬品情報の収集・加工7</p> <p>1. 医薬品添付文書(医療用、一般用)の記載項目(警告、禁忌、効能・効果、用法・用量、使用上の注意など)を列挙し、それらの意味や記載すべき内容について説明できる。</p> <p>2. 医薬品インタビューフォームの位置づけと医薬品添付文書との違いについて説明できる。</p> <p>3. 臨床試験などの原著論文および三次資料について医薬品情報の質を評価できる。(技能)</p> <p>4. 医薬品情報をニーズに合わせて加工・提供し管理する方法と注意点</p>

					<p>(知的所有権、守秘義務など)について説明できる。</p> <p>【調査学習】 事前学習：指定疾患の病態と薬物治療について予習しておく。 事後学習：講義を振り返り、指定薬剤の三次資料を収集し、まとめる。</p>
2/25	金	1	情報薬科学分野 地域医療薬学分野	西谷 直之 教授 松浦 誠 特任教授	<p>指定疾患に関わる医薬品情報の収集・加工 8</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 医薬品添付文書（医療用、一般用）の記載項目（警告、禁忌、効能・効果、用法・用量、使用上の注意など）を列挙し、それらの意味や記載すべき内容について説明できる。 2. 医薬品インタビューフォームの位置づけと医薬品添付文書との違いについて説明できる。 3. 臨床試験などの原著論文および三次資料について医薬品情報の質を評価できる。（技能） 4. 医薬品情報をニーズに合わせて加工・提供し管理する際の方法と注意点（知的所有権、守秘義務など）について説明できる。 <p>【調査学習】 事前学習：指定疾患の病態と薬物治療について予習しておく。 事後学習：講義を振り返り、指定薬剤の三次資料を収集し、まとめる。</p>
2/25	金	2	情報薬科学分野 地域医療薬学分野	西谷 直之 教授 松浦 誠 特任教授	<p>指定疾患に関わる医薬品情報の収集・加工 9</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 医薬品添付文書（医療用、一般用）の記載項目（警告、禁忌、効能・効果、用法・用量、使用上の注意など）を列挙し、それらの意味や記載すべき内容について説明できる。 2. 医薬品インタビューフォームの位置づけと医薬品添付文書との違いについて説明できる。 3. 臨床試験などの原著論文および三次資料について医薬品情報の質を評価できる。（技能） 4. 医薬品情報をニーズに合わせて加工・提供し管理する際の方法と注意点（知的所有権、守秘義務など）について説明できる。 <p>【調査学習】 事前学習：指定疾患の病態と薬物治療について予習しておく。</p>

					事後学習：講義を振り返り、指定薬剤の三次資料を収集し、まとめる。
--	--	--	--	--	----------------------------------

・教科書・参考書等（教：教科書 参：参考書 推：推薦図書）

	書籍名	著者名	発行所	発行年
参	今日の治療薬	浦部 晶夫 編集	南江堂	2017
参	病気がみえる vol.1~10	医療情報科学研究所 編	メディックメディア	
参	薬がみえる vol. 1~3	医療情報科学研究所 編	メディックメディア	
参	処方がわかる医療薬理学 2020-2021	中原保裕	学研メディカル秀潤社	2020

・成績評価方法

定期試験（80%）、まとめの提出物（20%）

・特記事項・その他

5 学年までに学習した薬物治療や医薬品情報関連科目を復習し事前学習とすること。必要に応じて、次回講義に用いる医薬品情報を予め収集しておく。予習すべき内容の詳細は、毎回の講義で指示する。事前学習には、30 分を要する。事後学習には、90 分を要する。試験前の準備に 5 時間を要する。定期試験には、まとめのノートを持ち込むことができるので、毎回の講義ごとにしっかりとまとめておくこと。